

2021年3月期第3四半期 決算発表 質疑応答

質問者①：

私からは2つ質問させていただければと思います。まず、決算説明会資料9ページ記載の Staffing SBU について、考え方を整理させてください。3Qの稼働者数がYoY△5.4%となっており、2QのYoY△2.9%と比較しマイナス幅が大きくなっている印象ですが、こちらは来期期初の発射台を見るうえで重要なポイントになると思っています。この稼働者数減少に対し、4Q、また来期期初に向けて発射台に向けて稼働者数を上げるための施策は何か行っているのでしょうか？

併せて、Staffing SBUの3Qの営業利益率はかなり良い印象で、BPOの寄与も大きいと記載がありますが、スポット案件も多いと思います。BPOの実力値としてはどうなのかについても教えていただけますでしょうか？

副社長 和田：

3Qの稼働者数についてYoYのマイナス幅が大きくなっているのは事実であり、4Q、特に12月以降、営業活動の強化を進めております。1月に発出された緊急事態宣言の影響で一部営業活動が停滞しており、それが3月～4月にかけてどう影響が出るのか危惧しています。

利益率に関しては、BPOは非常に高い数値で推移していますが、スポット案件は3Qで終了している案件も多いため4Qの成長率に影響はあるだろうという認識です。しかし、現在、BPOに関しては来期に向けた営業活動も進めており、今期と同等水準で受注できるように計画を立てて鋭意努力しているところなのでご期待いただければと考えております。

質問者①：

ご回答のBPOのところ「今期と同等の水準で受注できるように」とは、売上は今期並みに作れるのか、それともベースとなるビジネスを今期と同程度積み上げられるのか、どちらのニュアンスで捉えればよろしいのでしょうか？

和田：

今期は、スポット需要の割合が多くなっていますが、スポット需要が無くなってもそれをカバーする状況を作ることができる前提で、今期と同等の成長を目指したいと考えています。

質問者①：

2つ目の質問として、今回緊急事態宣言を受けて、通期計画は据え置きというご説明がありましたが、実際に緊急事態宣言による影響は何か出ているのでしょうか？

和田：

緊急事態宣言が発出により、営業活動そのものが鈍くなっています。お客様がテレワークとなるため、営業

交渉そのものが遅延するという事態は Staffing SBUに限らず、Career SBUにおいても生じており、ご依頼いただいてから決定するまでに要する時間の長期化や決定の先延ばし等が現実的に起きています。ただ、お客様も昨年一度経験しているということと、我々営業サイドも、営業そのもののやり方を変える等、様々な工夫でアプローチの件数を増やしたりしているため、前回の緊急事態宣言発出時ほどの影響はないと肌感覚で感じています。

質問者②：

BPOについてもう少し深掘りさせていただきたいのですが、3Qまで売上高はYoY20%超増の成長をしてきたとのことですが、そのうち、スポット案件の割合はどのくらいあったのでしょうか？

和田：

スポットの定義も社内ではしておらず、お答えするのがなかなか難しいのですが、BPO 領域全体の年間売上約 600 億円のうち、今期中に終わる案件が 80 億円程度であり、その部分をリカバーできるように、現在、動いております。

質問者②：

2つ目の質問は海外についてです。事業環境自体は底を打っているとの説明でしたが、営業利益ベースでの黒字化についてはどのような時間軸で考えていらっしゃいますでしょうか？

CFO 関：

COVID-19 による影響からの回復度合いは各国で異なっており、複合的な要素がありますが、海外事業の黒字化への転換時期は来期下期くらいになるのではないかと見ております。

質問者③：

まず 1 つ目の質問ですが、来期に向けた成長の考え方について改めて教えていただけますでしょうか？ 御社の計画では来期、Career SBUと Professional Outsourcing SBU の成長性を上げ、Staffing SBU は現在の収益力を引き続き維持しつつ拡大させると認識しております。足元の状況を鑑みるに、Career SBU、Professional Outsourcing SBU とともに、当初の想定よりも収益力は高まっていると見受けられるため、中期経営計画の進捗は順調という理解で良いのでしょうか？ また、来期以降に向けて、何らかのコストが発生する等、緊急事態宣言以外の懸念点はありますでしょうか？

和田：

仰るとおり、我々の計画通り進んでいると認識しております。懸念点としては、やはり人材派遣事業だと考えており、3月の終了者数は現時点で 15,000 名程度を想定していますが、想定よりもはるかに多くなっ

た場合には計画自体がずれてしまうこととなります。在宅勤務をしている派遣スタッフが現在 4 割程度おりますが、この方々が 2 月～ 3 月のところでのどのように評価されるのかが大きなポイントと認識しております。在宅により働き方そのものが変化し、企業の派遣スタッフへの仕事の割り振り方そのものに変化が生じた場合には、大きな変化が起こると感じており、今その変化を見定めようとしているところです。楽観的な見方をしたいのですが、マーケットの変化をシビアに見る必要があるという認識です。

質問者③：

追加で確認ですが、（派遣スタッフの就労については）一か月前通告であることを考えると、営業状況が進んできているため、「ある程度楽観的に見たい」という発言に繋がるという理解でよろしいでしょうか？

和田：

その理解で結構です。

質問者③：

もう 1 つの質問ですが、今回の経営体制の変更について、これまで和田副社長は水田社長とともに経営の舵取りをされてきたかと思うのですが、これまでの体制と、和田副社長主導の体制への変化はどう見れば良いでしょうか？特に、以前のリーマンショック後はかなりアグレッシブに M&A を推進することで成長してきた印象であり、現在、競合環境を見ても、コロナ禍で弱っている企業を M&A することでシェアを上げていくような取り組みの変化も見えてきている中で、和田副社長は今後どこに注力するのか、考えを教えてください。

和田：

新体制になるとはいえ、中期経営計画は水田・高橋・和田の 3 名が中心となって練ったものであり、これをしっかりとドライブをかけて推進することが私の使命だと考えています。中期経営計画の中にも記載しているとおり、テクノロジーの活用はビジネスを変革・拡大させていくためにも重要なテーマと考えており、あわせて今回のコロナで学んだことを受けて、Staffing だけでなく Career においても既存のビジネスモデルの強靱化を図らなければならないという考えも持っております。また、海外も来期の黒字化に向けて、今後の成長ドライバーとしていけるように、この三つにドライブをかけていくことが私の役割であると認識しております。そのためにも高橋とタッグを組んで、倍速で進めていくのが今後の形です。

社長 水田：

今、環境のうえでは厳しい側面もありますが、我々グループにとって非常に大きなチャンスとポジティブに捉え、今回の社長交代も良い時期と考えています。過去、日本型雇用になんげ変化はありましたが、今回 COVID-19 をきっかけに大きく変わると考えており、将来、10 年後、20 年後に振り返った時、従来型の雇用形態の転換点だったと言われると思っています。今後は最低でも約 3～5 割の方が仕事を変えていかないと現実的には仕事なくなる、つまりジョブチェンジが一般的となり、テレワークが普及し、勤務

地や働き方が限定されなくなると、その象徴としてのフリーランスという働き方、副業のようなものが間違いなく当たり前になってくると思います。これは我々にとってチャンスであり、我々パーソルグループの出番であり、この大きな変化を捉え、グループビジョンである「はたらいて、笑おう」を一人でも多くの方がこういった状況下においても体現できるような社会の実現に向けて、グループ一丸となって社会になくはならない存在になりたいと思っております。

質問者④：

Career SBU の人材紹介の受注は、3Q で前年同期比 75%と、1Q の 40%より改善はしている一方で、2Q の 75%との比較ではあまり改善はみられていないようですが、受注の状況について詳しく教えていただけますでしょうか？

関：

Career の受注状況については、新規の案件は増えていますが、新規顧客企業での求人が増加していることもあり、マッチングが追いついていない状況です。2Q から 3Q にかけて受注は約 75%の水準ですが、期末にかけて徐々に戻ってくる想定であり、趨勢は緩やかではありますが、来期に向けても同様に戻ってくる想定です。あわせて、生産性を上げることに注力することで更に回復にドライブかけられるだろうと期待しております。

質問者④：

新規の需要が上がっている一方で、マッチングが追いついていない理由について、コンサルタントの数が足りないのか、マッチングそのものが難しくなっているのか、教えていただけますでしょうか？

関：

新規の案件が増えていることが一番の大きな要因です。従来の大きなマス案件ではなく個別案件が増えてきていること、新規の顧客企業からの案件が増えていることもあり、従来のマッチングの手法に加え、更にパフォーマンスを高く上げるため、現在、一時的にマッチングが追いついていないということだと考えています。ただ、施策も重点的に講じており、きちんと回復基調に乗せられると考えています。

以上